

麗澤・地域連携実習 vol. 3 柏市の神社と龍について



今回は、柏市の神社について紹介したいと思います。

私たちは、鷲野谷の香取神社と布施弁天に見学にいきました。

初めに、香取神社です。本殿正面に、昇り龍と降り龍の彫刻があります。（左の写真）昇り龍は天に昇る姿、降り龍は天から降臨した姿を現しているようです。香取神社の場合、左右どちらの龍が、昇り龍なのかわかっていないのも魅力的で考察が深まります。

例として上野東照宮の龍の彫刻は、偉大な人ほど頭を垂れるということから、頭が下を向いている方が昇り龍と言われているそうです。香取神社の場合、右側の龍が昇り龍と考えられます。

その際に、とある疑問が生まれました。

— 柏市の神社には、なぜ龍の彫刻が多いのか —

ということです。

なぜ多いのかというと、龍には火災除けの意味があるからだそうです。

次に、布施弁天についてです。

これは、浅草・江の島・柏合わせて、関東三弁天と呼ばれています。布施弁天縁起によると、807年7月7日の夜「紅龍が現れ島を築き」とあります。現在の亀甲山が一夜にしてでき信仰の場となったとされ、823年3月、嵯峨天皇の時に紅龍山東海寺として、伽藍を設立し、勅願所に指定されたといわれています。

また目つぶしの絵馬の言い伝えでも有名なので、柏市生涯学習文化課のサイトの方を



チェックしてみてください！

最後に、質問です。今年の干支は何ですか？

そう！辰年です！

龍の彫刻が多い柏市の神社で願い事をすれば、叶うかもしれませんね！

龍の如く、高みを目指して、駆け昇っていきましょう！！

みなさんの願いが一つでも多く実現することを願っています。